

第7回 ふくまる夢たまごセミナー



日時 11月15日(金)18:00~20:00

場所 市庁舎7階大会議室

内容 【前編】

「教師とは」～これから教師をめざす塾生のみなさんへ望むこと～

講師 鈴木 恭太 先生(池田市立北豊島小学校・池田市立神田小学校・池田市立石橋南小学校)

【後編】

「生き方」をひろげるために

講師 奥田 雄大 先生(池田市立ほそごう学園)

『楽しくなければ…面白くなければ…』

11月15日(金)18時から、23名の塾生が出席し、第7回ふくまる夢たまごセミナーが始まりました。

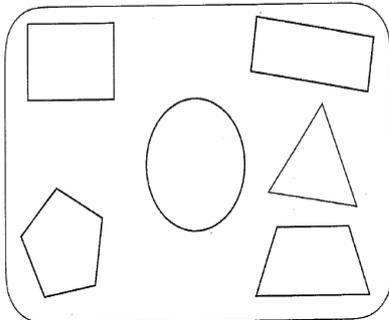
前編は、鈴木先生です。鈴木先生は、学校現場、教育委員会で長らく活躍された後、現在は、複数の小学校で初任者指導を担っていただいております。

鈴木先生からは、教師をめざす塾生に対し、教師として、子どもたちの興味・関心を引き出すために、創意工夫を意識した指導の在り方や学校や授業が子どもたちにもたらす影響や価値についてお話いただきました。また、「学級担任が学級経営を始めるにあたり、どんなクラスにしたいのかを明確にし、企画したことは1年間続けること」「そのためには、続けられることを始めることや一見無駄話に思えても、教師の『雑談』は子どもの記憶に残り、興味・関心の幅を広げる。だからこそ、引き出しをたくさん用意しておくこと」など、鈴木先生がこれまでの経験をもとに話された内容は、これから「教師」をめざしていく塾生にとって、学び多き時間となりました。



『実践的な行動がとれる力を・・・』

◇アイデンティティの範囲
アイデンティティとは・・・「これこそ自分」と思える自分の特性についての自覚
①どのような社会的集団に属するか
②趣味や性格特性がどのようなものか、生活に関わること



後編は、奥田先生です。奥田先生は、現在、池田市人権教育研究協議会で事務局長を務められています。はじめに奥田先生からは、6個の図形の中に「これこそ自分」と思える事柄を書く「アイデンティティの細胞」というワーク①を行っていただきました。「自分が何者であるか」を考えることにより「人権とは何か」に迫り、これを踏まえたくて、グループで「17の個別の人権課題」を考えました。



次に、ワーク②の「ことばカード」では、カードに書かれた一言が、誰かの存在を否定することにつながらないかを考えました。

人権教育とは、一人ひとりが人間として大切にされ、生きていくために、人権尊重の価値観、態度を育み、自分の人権と人の人権を守るための実践的な行動がとれる力を身につけていくための総合的な教育活動であることを実感したようです。

① 男同士でイチャイチャするなよ～(笑)	② やっぱハーフってかわいいね！うらやましい～。	③ ●●ちゃんって彼氏つくないの？	④ ニュース見た？？北朝鮮のミサイル怖いよねえ…
⑤ 進路どうするの？そろそろ本職入れて考えないとダメだよ。	⑥ せっかく18歳から投票できるようになったんだから、しっかり選挙行こうね！	⑦ (保健の教科書を読んで)「思春期になると誰もが異性に興味を持つようになります」	⑧ このプリント、大事なやつだからお母さんに忘れずに渡すようにな。

＜塾生の感想から＞

- 自身が小中学生だったころを思い出すと、確かに授業終わりの雑談は今でも覚えています。私もそのような話ができるよう様々なことを経験・体験し、人に伝えられるような人になりたいです。
- 教員は創意工夫のプロときいて、しっくりきました。今の自分には誰かの真似をして取り入れることしかできないけど、慣れてきたら自分でも子どもたちがよりわかりやすい教授方法を考えてチャレンジをしたいと思いました。
- 人権問題が話題になっている時に、自分には関係ないではなくて、自分のクラスにこの問題の当事者となる子どもがいたら自分にできる関わりは「何か」を考えることこそが、今の自分にできることだと考えました。
- 人権問題に関して知識不足であることを痛感しました。自分が接する人に対して、その人の背景までも想像し、言葉や行動を慎重に選択することの大切さを感じました。今後、習慣となって、つい発してしまう言葉でも、意識して自分の言動を振り返ることができるように努力をしていこうと思います。

